

カトリック山手教会月報

やまて



編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地
☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>

第604号 2020年2月9日

「木曜パトロール」について

主任司祭 ミカエル鈴木 真

わたしが司祭になってから長く続けていることのひとつに、「木曜パトロール」という活動があります。木曜の晩に関内駅周辺の路上生活者のところを回るものですが、もともとは1980年代に関内の大通公園で野宿者の襲撃事件があり、それをきっかけにあるプロテスタントの牧師さんが始めたものようです。今では、いわゆる市民ボランティアのような形で、様々な人たちで回っています。寄付で集まった毛布や下着などをお持ちし、また、ほしいという方にはカップスープを作って渡します。わたしは、ちょうど、ここ山手に助任でいた1995年の年明けから、当時、山手の信徒で関わっていた方に誘われて始めました。そもそも週1回回ったところで路上生活をしている方々の状態が変わるわけでもないし、もともとの目的も物を配ることではなくて、路上生活を余儀なくされている方々の状況把握でした。始めた当初は、何となく偽善的なことをしているような気がして悩みましたが、ほどなく「趣味にしちゃえばいいんだ」と開き直り、自分が好きでやっている…と、よくわからない理屈で長年続けています。なんと、今年でもう25年になりました。時代によって寝ている方の人数もずいぶん変化がありました。ここ数年は50～60人くらいに留まっています。でも、逆に言えば、この寒空の中、それだけの人がまだ路上生活を強いられている、というのも事実です。いわば社

会の底辺に追いやられている方々を忘れないためにも、できる限り続けていきたいと思っています。たくさんの方々寄付などに支えられていることに、心から感謝しています。特に、山手の皆様には物資と資金の両面でご支援いただいています。本当にありがとうございます。そして、今後とも、どうぞ、ご理解とご協力を、よろしく願いいたします。